

平成22年10月期 第1四半期決算短信

平成22年3月11日

上場取引所 東

上場会社名 クミアイ化学工業株式会社

コード番号 4996 URL <http://www.kumiai-chem.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 望月 信彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 小池 好智

TEL 03-3822-5036

四半期報告書提出予定日 平成22年3月17日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満四捨五入)

1. 平成22年10月期第1四半期の連結業績(平成21年11月1日～平成22年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年10月期第1四半期	8,343	△13.3	293	△1.2	416	21.7	294	238.1
21年10月期第1四半期	9,626	—	297	—	342	—	87	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年10月期第1四半期	3.65	—
21年10月期第1四半期	1.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年10月期第1四半期	55,631	38,748	66.2	457.20
21年10月期	52,010	39,029	71.3	460.34

(参考) 自己資本 22年10月期第1四半期 36,829百万円 21年10月期 37,083百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年10月期	—	—	—	3.00	3.00
22年10月期	—	—	—	—	—
22年10月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年10月期の連結業績予想(平成21年11月1日～平成22年10月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	26,400	△2.9	1,750	△18.2	2,000	△8.8	1,150	1.0	14.28
通期	38,500	△1.9	550	△17.5	1,100	17.9	550	102.2	6.83

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
 ② ①以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年10月期第1四半期 | 86,977,709株 | 21年10月期 | 86,977,709株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年10月期第1四半期 | 6,423,391株 | 21年10月期 | 6,420,882株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年10月期第1四半期 | 80,555,012株 | 21年10月期第1四半期 | 80,572,191株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表時日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な景気悪化から一部持ち直しの傾向が続いておりますが、デフレの傾向も同様に続いており、企業収益の低迷、設備投資の抑制、雇用情勢の悪化などからいまだ厳しい状況が継続しております。

このような情勢のもと、当グループは、自社開発品を中心として主力商品の普及拡販に努力いたしましたが、主力事業である国内の農薬販売が前年度の農薬価格の改定に関連した駆け込み需要の反動や流通段階の在庫圧縮の影響から売上減となり、当グループの第1四半期連結累計期間における売上高は83億4千3百万円、前年同期比12億8千3百万円(13.3%)の減となりました。損益面につきましては、売上高の減少はあったものの、販売費及び一般管理費の低減を図った結果、営業利益は2億9千3百万円、前年同期比4百万円(1.2%)の減にとどまり、経常利益は4億1千6百万円、前年同期比7千4百万円(21.7%)の増となりました。四半期純利益は、前年同期にあったたな卸資産評価損がなくなったことなどから、前年同期比2億7百万円(238.1%)増の2億9千4百万円となりました。

事業の種類別セグメントの概況につきましては、化学品事業の国内部門は、上記の状況に加え、出荷時期の遅れも重なり、売上高は前年同期を下回りました。国外部門の販売は、比較的堅調に推移し、前年同期をやや上回りました。その結果、化学品事業の売上高は75億7千5百万円、前年同期比12億6千2百万円(14.3%)の減となりましたが、営業利益は、販売費及び一般管理費の低減により、ほぼ前年同期並みの3億6千万円となりました。賃貸事業及びその他の事業はほぼ前年同期並みの実績となり、賃貸事業の売上高は5千3百万円(セグメント間の内部売上を含めた売上高は9千5百万円)、営業利益は6千1百万円、その他の事業の売上高は7億1千5百万円、営業利益は4百万円となりました。

所在地別セグメントの業績につきましては、日本セグメントは、売上高は58億2千8百万円、前年同期比8億7千4百万円(13.0%)の減となりましたが、販売費及び一般管理費の低減により、営業利益は3億6千1百万円、前年同期比4千3百万円(13.5%)の増となりました。北米セグメントは、売上高14億2千8百万円、前年同期比1億6千1百万円(10.1%)の減、営業利益5千6百万円、前年同期比6百万円(9.9%)の減、欧州セグメントは、売上高10億8千6百万円、前年同期比2億4千9百万円(18.6%)の減、営業利益5百万円、前年同期比3千9百万円(87.7%)の減となりました。

なお、当第1四半期累計期間における為替については、前年同期に比較して対ドルは円高傾向で、対ユーロは円安傾向に推移しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は556億3千1百万円で、前連結会計年度に比べ36億2千1百万円の増加となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したことによるものです。

負債は168億8千3百万円で、前連結会計年度に比べ39億2百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が増加したことによるものです。

純資産は387億4千8百万円、自己資本比率は66.2%、1株当たり純資産は457円20銭となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、22億8千9百万円の減少となりました。これは、税金等調整前四半期純利益5億1千万円及び仕入債務の増加49億5千4百万円等の資金の増加に対し、売上債権の増加39億3千1百万円及びたな卸資産の増加30億4千9百万円等の資金の減少によるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億2千6百万円の減少となりました。これは、投資有価証券の取得による支出4億8千万円等の資金の減少によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億2千4百万円の減少となりました。これは、配当金の支払2億2千1百万円等の資金の減少によるものです。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、期首残高に比べ29億6千1百万円減少し、80億7千2百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年10月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想は、平成21年10月期の決算発表時(平成21年12月16日)の業績予想からの変更はありません。なお、業績予想に関連した事項として、本日開示いたしました「特別利益の計上に関するお知らせ」も併せてご参照願います。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,503	11,664
受取手形及び売掛金	9,394	5,501
有価証券	635	636
商品及び製品	8,979	6,563
仕掛品	2,190	1,971
原材料及び貯蔵品	1,076	663
繰延税金資産	800	800
その他	472	533
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	32,048	28,327
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,695	3,762
機械装置及び運搬具(純額)	832	877
土地	6,315	6,316
その他(純額)	509	483
有形固定資産合計	11,351	11,439
無形固定資産		
投資その他の資産	198	213
投資有価証券	10,665	10,669
繰延税金資産	155	142
その他	1,216	1,222
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	12,035	12,031
固定資産合計	23,583	23,683
資産合計	55,631	52,010
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,723	6,789
短期借入金	41	11
未払金	757	1,448
未払法人税等	182	53
賞与引当金	154	464
環境対策引当金	77	142
その他	431	401
流動負債合計	13,366	9,309

(単位：百万円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成22年1月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年10月31日)
固定負債		
長期借入金	26	28
繰延税金負債	737	936
退職給付引当金	1,936	1,929
役員退職慰労引当金	424	414
その他	395	366
固定負債合計	3,517	3,672
負債合計	16,883	12,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,534	4,534
資本剰余金	4,833	4,833
利益剰余金	27,658	27,606
自己株式	△1,222	△1,221
株主資本合計	35,804	35,753
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,383	1,693
為替換算調整勘定	△358	△362
評価・換算差額等合計	1,026	1,331
少数株主持分	1,919	1,945
純資産合計	38,748	39,029
負債純資産合計	55,631	52,010

(2) 四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年11月1日 至平成21年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年1月31日)
売上高	9,626	8,343
売上原価	7,385	6,287
売上総利益	2,240	2,056
販売費及び一般管理費	1,944	1,762
営業利益	297	293
営業外収益		
受取利息	10	12
受取配当金	56	57
持分法による投資利益	25	46
その他	20	15
営業外収益合計	110	131
営業外費用		
支払利息	0	0
売上割引	6	5
為替差損	47	—
その他	12	3
営業外費用合計	65	8
経常利益	342	416
特別利益		
固定資産処分益	0	0
受取補償金	—	97
特別利益合計	0	97
特別損失		
固定資産処分損	5	2
廃棄品処理費用	64	—
たな卸資産評価損	66	—
特別損失合計	136	2
税金等調整前四半期純利益	206	510
法人税等	95	200
少数株主利益	25	17
四半期純利益	87	294

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	206	510
減価償却費	164	175
有形固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	△313	△310
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△25	7
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△50	10
その他の引当金の増減額(△は減少)	△58	△65
受取利息及び受取配当金	△65	△69
支払利息	0	5
為替差損益(△は益)	14	3
持分法による投資損益(△は益)	△25	△46
受取補償金	—	△97
売上債権の増減額(△は増加)	△4,490	△3,931
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,773	△3,049
仕入債務の増減額(△は減少)	5,236	4,954
その他	148	△382
小計	△2,030	△2,285
利息及び配当金の受取額	81	63
利息の支払額	△0	△5
法人税等の支払額	△108	△63
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,057	△2,289
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	90	199
有形固定資産の取得による支出	△187	△139
有形固定資産の売却による収入	—	4
無形固定資産の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の取得による支出	—	△480
その他	63	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△40	△426
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	—	30
長期借入金の返済による支出	△3	△3
自己株式の増減額(△は増加)	△3	△1
配当金の支払額	△215	△221
少数株主への配当金の支払額	△9	△8
その他	—	△21
財務活動によるキャッシュ・フロー	△231	△224
現金及び現金同等物に係る換算差額	△70	△22
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,398	△2,961
現金及び現金同等物の期首残高	10,737	11,033
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,339	8,072

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成20年11月1日至平成21年1月31日)

	化学品事業 (百万円)	賃貸事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	8,837	53	736	9,626	—	9,626
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	41	298	340	(340)	—
計	8,837	95	1,034	9,966	(340)	9,626
営業利益	349	67	5	421	(124)	297

(注) 1. 事業の区分は、製品(商品及び役務提供を含む。)の種類・性質及び販売市場の類似性を考慮して決定しております。

2. 各区分の主な事業等

- (1) 化学品事業 ……農薬・有機中間体等の化学品製造販売事業、環境中の化学物質計量事業
- (2) 賃貸事業 ……土地・建物等の不動産賃貸事業
- (3) その他の事業 ……各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業

3. 従来、賃貸事業はその他の事業に含めておりましたが、当該事業区分の重要性が増したため当第1四半期連結会計期間より「賃貸事業」として区分表示することに変更しました。

当第1四半期連結累計期間(自平成21年11月1日至平成22年1月31日)

	化学品事業 (百万円)	賃貸事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	7,575	53	715	8,343	—	8,343
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	42	331	373	(373)	—
計	7,575	95	1,045	8,715	(373)	8,343
営業利益	360	61	4	425	(132)	293

(注) 1. 事業の区分は、製品(商品及び役務提供を含む。)の種類・性質及び販売市場の類似性を考慮して決定しております。

2. 各区分の主な事業等

- (1) 化学品事業 ……農薬・有機中間体等の化学品製造販売事業、環境中の化学物質計量事業
- (2) 賃貸事業 ……土地・建物等の不動産賃貸事業
- (3) その他の事業 ……各種印刷物の製造販売事業、運送・倉庫事業、情報サービス事業

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	6,702	1,589	1,335	9,626	—	9,626
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	1,961	4	—	1,965	(1,965)	—
計	8,663	1,593	1,335	11,591	(1,965)	9,626
営業利益	318	62	45	424	(127)	297

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国

欧州 … ベルギー

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1)外部顧客に対する 売上高	5,828	1,428	1,086	8,343	—	8,343
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	2,009	3	—	2,012	(2,012)	—
計	7,837	1,432	1,086	10,355	(2,012)	8,343
営業利益	361	56	5	422	(129)	293

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国

欧州 … ベルギー

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年11月1日 至 平成21年1月31日）

	北米 (百万円)	中南米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計
I 海外売上高	748	770	699	1,311	136	3,664
II 連結売上高	—	—	—	—	—	9,626
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	7.8	8.0	7.3	13.6	1.4	38.1

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっている。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国

中南米 … ブラジル、コロンビア

アジア … 韓国、タイ、ベトナム

欧州 … ドイツ、イタリア、フランス

その他 … エジプト

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日）

	北米 (百万円)	中南米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他の地域 (百万円)	計
I 海外売上高	794	799	721	1,092	105	3,511
II 連結売上高	—	—	—	—	—	8,343
III 連結売上高に占める海外売上高の割合	9.5	9.6	8.6	13.1	1.3	42.1

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

北米 … 米国
 中南米 … ブラジル、コロンビア
 アジア … 韓国、タイ、フィリピン
 欧州 … ドイツ、フランス、イタリア
 その他 … エジプト

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年11月1日 至 平成22年1月31日）

該当事項はありません。